

SPRING
NEW ARRIVAL

新着案内



早稲田大阪学園 図書館
http://www.waseda-setsuryo.ed.jp
No.119 2021/11/15

図書館では、本のリクエストを受け付けております。
課題で使いたい本やそれ以外でも、お声がけください。



●0類 (総記・全般)



『QRコードの奇跡』小川進/東洋経済新報社
日本発で国際標準になった稀有なイノベーション、QRコード。トヨタ生産方式向けのバーコードと読み取り機の開発にまでさかのぼり、QRコードの開発と標準化、その後の進化までを紹介する。

●1類 (哲学・心理学・宗教)



『「利他」とは何か』伊藤亜紗 編/集英社新書
『聖域』コムドットやまと/KADOKAWA
YouTubeグループ「コムドット」のリーダー・やまとは何を考え、行動し、この場所を進んでいるのか。夢を掴む突き抜けた考え方、燃える生き方について綴る初のエッセイ！地元ノリに留まらないユーモアと国宝級の顔面を併せ持つ彼の「主人公マインド」を、熱を帯びた生の言葉で綴る。

『13歳から分かる! 7つの習慣』7つの習慣 編集部 監修/日本図書センター
『13歳から分かる! プロフェッショナルの条件』藤屋伸二 監修/日本図書センター
『プロフェッショナルの条件』P.F.ドラッカー/ダイヤモンド社
『「死にたい」「消えたい」と思ったことがあるあなたへ』河出書房新社
『101人が選ぶ「とっておきの言葉」』河出書房新社
『日本人と神』佐藤弘夫/講談社現代新書

●2類 (歴史・土地の様子)

『知られざる古墳ライフ』『知られざる縄文ライフ』『知られざる弥生ライフ』 譽田亜紀子/誠文堂新光社
『13歳からのレイチェル・カーソン』上遠恵子 監修/かもがわ出版
化学物質がとめどなく使用されたら自然の生態系はどうなるのか。レイチェル・カーソンが1962年に出版した問題提起の書「沈黙の春」。生物学者であり、自然の語り部であったカーソンの生い立ちと作品を紹介します。
『旅が好きだ!』河出書房新社
『ジーノの家』内田洋子/文春文庫

●3類 (社会)

『ヘイトスピーチと対抗報道』角南圭祐/集英社新書
『あなたの不安を解消する方法がここに書いてあります。』 吉田尚記/河出書房新社
『地域とゆるくつながろう!』石山恒貴 編著/静岡新聞社
『介護保険が危ない!』上野千鶴子・樋口恵子 編/岩波ブックレット
『最新介護保険の基本と仕組みがよ〜くわかる本』 高室成幸 監修/秀和システム
『つながり続けるこども食堂』湯浅誠/中央公論新社
誰にでも開かれたこども食堂は、コロナ禍にも負けず全国に爆発的に増え続ける。人びとの生きづらさをやわらげるこども食堂の現在とその可能性を問う。
『10年後の世界を生き抜く教育』茂木健一郎・竹内薫/祥伝社黄金文庫
『モノのはじまりを知る事典』木村茂光・安田常雄ほか/吉川弘文館

●4類 (自然科学・医学)



『海をわたった母子手帳』中村安秀/旬報社
日本で誕生した母子手帳は、今や世界の50カ国以上が使用している。世界中の母と子の命を守る母子手帳はどう生まれ、どう広まっていったのか。小さな手帳が生んだ、大きな奇跡の物語。
『科学者になりたい君へ』佐藤勝彦/河出書房新社
『どんなに方向オンチでも地図が読めるようになる本』今和泉隆行/たいわ文庫
『若い読者に贈る美しい生物学講義』更科功/ダイヤモンド社
『これからの時代を生き抜くための生物学入門』五箇公一/辰巳出版
『京大おどろきのウイルス学講義』宮沢孝幸/PHP新書
『はずれ者が進化をつくる』稲垣栄洋/ちくまプリマー新書
『生き物の死にざま はかない命の物語』稲垣栄洋/草思社
『もしも虫と話したら』ペズル 文・じゅえき太郎 絵/パピメント社
『あなたは嫌いかもしれないけど、とってもおもしろい蚊の話』 三條場千寿・比嘉由紀子ほか/山と溪谷社

●4類 (自然科学・医学)

『人を襲うハチ』小川原辰雄/山と溪谷社 『人類と病』詩摩佳代/中公新書
『健康・医療心理学入門』島井哲志・長田久雄ほか編/有斐閣
『丸わかり! 漢方薬 120%使いこなし事典』根本幸夫 監修/主婦の友社
『あなたの隣の精神疾患』春日武彦/集英社インターナショナル新書
『食べる時間でこんなに変わる時間栄養学入門』柴田重信/講談社ブルーバックス
『世界毒草百科図鑑』エリザベス・A・ダウンシーほか/原書房
『世界薬用植物図鑑』モニク・シモンズほか/原書房
世界中の270種以上の薬用植物を美しい図版とともに解説。自家製ハーブティーやオイル、チンキ剤、クリームなど伝統的に安全性が確認されている24の実用的レシピ、薬草をガーデニングにとり入れる情報も掲載。
『知っておきたい日本の絶滅危惧植物図鑑』長澤享一・瀬戸口浩彰/創元社

●5類 (技術・工業・家庭)

『土木の仕事ガイドブック』柴田久 編著/学芸出版社
『新幹線知られざる開発史』/双葉社 『建築の明日へ』松村秀一/平凡社新書
『リニア新幹線』橋山禮治郎/集英社新書
『「夢の超特急」誕生』交通新聞社新書
『リニア新幹線と南海トラフ巨大地震』石橋克彦/集英社新書
『日本の歴史的建造物』光井渉/中公新書
『日本車は生き残れるか』桑島浩彰・川端由美/講談社現代新書
『ソニー半導体の奇跡』斎藤端/東洋経済新報社
『菌の声を聴け』渡邊格・渡邊麻里子/ミシマ社
『日本ゲーム産業史』日経BP社ゲーム産業取材班/日経BP社
『横井軍平ゲーム館』横井軍平/ちくま文庫
あふれるアイデアと徹底したユーザー目線によって「ウルトラハンド」「ゲーム&ウオッチ」「ゲームボーイ」等のヒット作を生み出した横井軍平。名作から珍作まで、ゲームファンを虜にした商品を開発秘話とともに紹介。

●6類 (産業)

『食べものから学ぶ世界史』平賀緑/岩波ジュニア新書
『宇宙マグロのすしを食べる』山本俊政/旬報社
淡水とも海水とも異なる第3の水、好適環境水。海の魚も川の魚も生きていられる「魔法の水」をつくり出した著者が、基礎研究も含めておよそ20年、どんなことを考え反省し、研究に取り組んできたかを綴る。

●7類 (芸術・体育)

『森の探偵』宮崎学/亜紀書房
『凜凜烈烈日本サッカーの30年』田村修一/早稲田新書

●8類 (言語)

『わたしの外国語漂流記』河出書房新社
『シンプルな英語』中山裕木子/講談社現代新書

●9類 (文学)

『さよならは仮のことば』谷川俊太郎/新潮文庫
『准教授・高槻隼の推察 5~6』澤村雅彦/角川文庫
『店長がバカすぎて』早見和真/ハルキ文庫
『まぶた』小川洋子/新潮文庫
『invert』相沢沙呼/講談社
『江戸川乱歩作品集 1~3』『江戸川乱歩短篇集』江戸川乱歩/岩波文庫
『明日の世界が君に優しくありますように』汐見夏衛/スタート出版文庫
『国宝 上・下』吉田修一/朝日文庫
『カルメン』メリメ/新潮文庫
『柳生忍法帖 上・下』山田風太郎/角川文庫
『星の文学館』『月の文学館』『森の文学館』『石の文学館』 和田博文 編/ちくま文庫
『時の子供たち 上・下』エイドリアン・チャイコフスキー/竹書房文庫
『デカメロン 2020』イタリアの若者たち(著) 内田洋子(企画・翻訳)/方丈社

★図解眠れなくなるほど面白いシリーズ多数入荷しました!
(例)糖質の話、脂質の話、自律神経の話など

※表紙画像は、出版社の許可を得て転載しています。